



「違い」を前提に “協力”を生み出すテクノロジー

～ 多様な主体を巻き込む相利思考ワークショップ～

7/23 (木) 13:30-16:30

地域課題や社会課題に取り組む中で、「協力してほしい相手がいるけれど、話がかみ合わない」、
「むしろ反対されたり、関係がこじれてしまう」といった経験はありませんか。

このセミナーでは、互いの違いを前提にしながら、協力を生み出すための考え方と実践方法を学びます。
ポイントは、相手に納得してもらうことではなく、相手にとってのメリットを提案することです。
前半の講義では、「相利（そうり）」の考え方を軸に、協力がうまくいかない背景や、意見や立場の異なる
関係を協力関係に転換する方法などについて、具体例を交えて学びます。後半のワークショップでは、参加
者が取り組む地域課題や社会課題の中から具体的なテーマをグループごとに決め、そのテーマに沿って、
関係する利害関係者や相利を洗い出し、どう関わり巻き込んでいくかといった協力のロジックを組み立て
る練習を行います。

「意見や立場の異なる人を協力者に変えたい」、「多様な立場の人と、一緒に前に進みたい」、そんな思いを
持つ皆様のご参加をお待ちしています！

登壇



松原 明氏

特定非営利活動法人協力アカデミー
代表理事

1994年、シーズ・市民活動を支える制度をつくる会を創設。NPO法、認定
NPO法人制度創設を推進。多くの自治体の協働制度創設にも携わる。2023
年、NPO法人協力アカデミーを設立。著書に『協力のテクノロジー』。

日時：2026年7月23日（木）13：30～16：30（13：00受付開始）

会場：横浜市市民協働推進センター スペースAB

定員：20名（先着順） 参加費：無料（要事前申込）

申込締切：2026年7月16日（木）

申込QR



【主催・お問い合わせ】

横浜市市民協働推進センター

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10横浜市庁舎1F

TEL：045-671-4732